

平成 22 年度 医学共通講義Ⅲ  
機能生物学入門  
新基盤生命学講義 (GCOE「統合生命学」)



演題: 大脳皮質ニューロンタイプと局所・遠隔回路結合

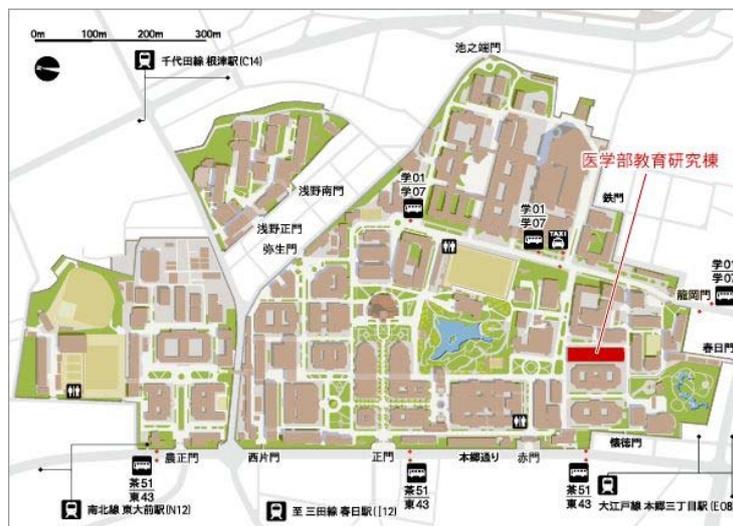
演者: 自然科学研究機構 生理学研究所 大脳神経回路論研究部門  
教授 川口 泰雄

日時: 平成 22 年 6 月 14 日(月) 14:30~16:00

場所: 医学部教育研究棟 13 階 第 6 セミナー室

私たちはこれまで、大脳皮質の GABA 作働性細胞を発火様式・分子発現で、錐体細胞を投射様式で主に分けてきました。このようにして分類したサブタイプは、特有な樹状突起形態・軸索分布をとることが分かりました。しかし、新皮質局所回路において、錐体細胞が作る興奮性サブネットワークの実体と、それらに対する GABA 細胞による選択的抑制の仕組みはまだあまりよくわかっていません。

そこで次の段階として、ニューロンサブタイプの機能や結合選択性の意味を考えるために、投射先が多様なラット運動関連皮質で、その内部回路が皮質外出力に依存してどのように分化しているかを少しずつ調べています。



【担当教室】

医学系研究科構造生理学教室  
(教授 河西 春郎)

【問い合わせ先】

医学系研究科 構造生理学教室  
TEL : 03(5841)1440

<http://www.bm2.m.u-tokyo.ac.jp/>